

(概要版)

郷土を愛する心をはぐくむ 道徳教育の工夫

— 自作資料を活用した
「人・もの」とかかわる総合単元的な道徳学習を通して —

長期研修員 神道 朋子

主題設定の理由

学習指導要領 総則【道徳教育の目標】

「伝統と文化を尊重し、それらは
はぐくんできたわが国と郷土を愛し…」



平成24年度 群馬県学校教育の指針

「家庭や地域社会との連携を深めた
道徳教育の推進」
「魅力的な教材を活用した授業づくり」



高めたいもの・深めたいもの



児童

・地域の自然や文化財に
対する**関心**

・地域の行事への
参加意欲

・地域との**かかわり**
・地域の**よさの認識**

充実させたいこと



教師

・身近な地域素材を取り
上げた**教材の活用**

・保護者や地域の人との
連携

・各教科等との**関連を**
図った指導

そこで!



自作資料を活用した

「人・もの」とかかわる

総合単元的な道徳学習

研究構想図

郷土を愛する心をもった児童

総合単元的な道徳学習

郷土の人々、自然、伝統などを大切にする道徳的実践

社会科 「人・もの」とのかかわり 総合的な学習の時間

道徳の時間

郷土のためにできることをしようとする実践意欲

郷土を大切にしようとする心情

道徳の時間③ 家族愛

道徳の時間② 郷土愛

道徳の時間① 自然愛

地域素材を取り上げた
自作資料の活用

- ・読み物資料
- ・映像資料

書く活動の工夫

- ・吹き出し形式
 - ・手紙形式
- のワークシートと、その活用の工夫

【児童】 地域の自然や文化財に対する**関心**、地域行事への**参加意欲**が十分ではない
地域との**かかわり**が少なく、その**よさ**を十分認識していない

【教師】 身近な地域素材を取り上げた**教材の活用**、保護者や地域の人との**連携**、
各教科等との関連を図った指導などが十分に行われていない

手だて

自作資料の活用

読み物資料の作成と活用

映像資料の作成と活用

○地域のよさを自分とのかかわりでとらえる。

○地域の人々の思いに共感し、自分の生き方についての考えを深める。

「人・もの」とのかかわり

○保護者や地域の「人」及び地域にまつわる「もの」とかかわる授業づくりを通して、郷土への思いやよりよい生き方についての考えを深める。

書く活動の工夫

○「人・もの」とのかかわりを深め、郷土を大切にすることを自己の生き方と結び付けて考える。

総合単元的な道徳学習の実践 (小学校3年)

5月 社会科「わたしたちの町みんなの町」



赤城町めぐり

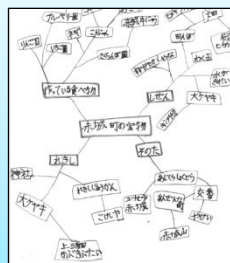
ぼくたちの町には、
貴重な自然や文化財
がたくさんあるな。



6月 総合的な学習の時間 「赤城町のたからもの」



私たちの町のたから
ものって何だろう。調べ
てみよう。



6月 道徳の時間 ① 「ほたるの里」

3 - (2) 自然愛

読み物資料の作成と活用

実践意欲

地域の人の
思いや努力

自然の
すばらしさ

「ほたるの里」

自然を大切に
する喜び

郷土のすばらしい自然を大切にしたいな。そのためにどんなことができるだろう。

映像資料の作成と活用



「人・もの」とのかかわり

ほたるの里の方の話

主人公からの手紙

渋川かるた

ほたるの里のポスター

書く活動の工夫

吹き出し形式

手紙形式

すごいな・私もおどっている気分になるよ。地球に星がふってきたみたい。

ほたるのために、私もボランティアがいいでしょう。

みなさんのおかげで、六百びきいじょうになりました。

ありがとうございます。

やきくしてくれて、ありがとうございます。

私もおどってみたい。ほたるのいのちをすくう人になってみたい。ほたるのいのちをもちとらへて、ほたるはかせになってみたいです。

私もおどってみたい。ほたるのいのちをすくう人になってみたい。ほたるのいのちをもちとらへて、ほたるはかせになってみたいです。

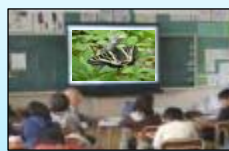
ほたるの里 (三年一組)

7月 総合的な学習の時間 「赤城町のたからもの」

私たちの町の「自然」
について調べてみたいな。
「ヒメギフチョウ」って県の
天然記念物なのね。



赤城町の「自然」
についての調べ学習



ヒメギフチョウの保
護活動をされてい
る方の話

ヒメギフチョウの保護
活動をしている小学生がい
ることを初めて知ったよ。
ぼくもチョウを見たり、保
護活動をしたりしたいな。



9月 総合的な学習の時間 「赤城町のたからもの」



上三原田歌舞伎舞台見学

わたしたちの町の「文化財」
についても調べてみよう。
歌舞伎舞台は誰がどうやっ
て動かすのだろう。



10月 道徳の時間②「上三原田歌舞伎をつたえる」 4-(5) 郷土愛

読み物資料の作成と活用

実践意欲

地域の伝統のすばらしさを大切に

伝統を守る地域の人の思いや努力

「上三原田歌舞伎を守り伝える地域のおとなたち・子どもたち」

歌舞伎や歌舞伎舞台を地域の人たちと守り伝えていきたいな。

映像資料の作成と活用



「人・もの」とのかかわり

| | |
|----------|----------|
| 伝承委員の方の話 | 歌舞伎指導者の話 |
| 拍子木 | 下駄・番傘 |

書く活動の工夫

吹き出し形式

ふたいやかぶきのすばらしさを伝えたい。

いろんな人がやっていて私もやってみたくなった。

手紙形式

これからわたしがやってみたいことは、おげしようにして、着物きて、歌舞伎をえんじてみる予定です。

10月 総合的な学習の時間「赤城町のたからもの」

歌舞伎っておもしろいな。実際に見たり、せりに上がったりしてみたいな。



歌舞伎体験

新聞作り



歌舞伎舞台や歌舞伎のすばらしさをみんなに知らせたいな。

10月 社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」

りんごの栽培には家族の協力が必要なのね。

りんご園見学



農家の人たちのおかげでおいしいりんごが食べられるんだね。りんごが特産の赤城町はいいところだなあ。

10月 道徳の時間③「ひいおじいちゃんの杉の木」 4-(3) 家族愛

読み物資料の作成と活用

実践意欲

家族が協力し合って働くことの大切さ

郷土を開拓した人たちの苦労や努力

「ひいおじいちゃんの杉の木」

映像資料の作成と活用



「人・もの」とのかかわり

| | |
|---------|----------|
| 家族の役割調査 | 家族からの手紙 |
| つるはし | 水入リ一升瓶2本 |

家族の一員として役に立ちたいな。

書く活動の工夫

吹き出し形式

ひいおじいちゃんにはそんな大変なことをばくと同じ三年生でやっていたのかひいおじいちゃんすごいな。ぼくもおふるもじをがんばろう!

えい、おふるあらい? やろうと思っけど、ゲームもいとこみだし、どうしよう。

手紙形式

お手紙を読んでなきそうになりました。いつもおいしい料理を作ってくれてありがとう。

地域素材を取り上げた 読み物資料の開発・活用ガイド

地域素材を取り上げた

読み物資料の

開発・活用ガイド



- ・地域素材を選ぶポイント
- ・題材別 情報収集のポイント
- ・情報のリンク集
- ・作成の手順と作成カード
- ・開発資料のチェックリスト
- ・読み物資料を活用した指導の工夫
など

資料の内容や構成が
チェックできます！

開発資料のチェックリスト

作成した読み物資料の内容や構成をチェックして、改善に役立てましょう。

(◎満足できる ○おおむね満足できる △改善の余地がある)

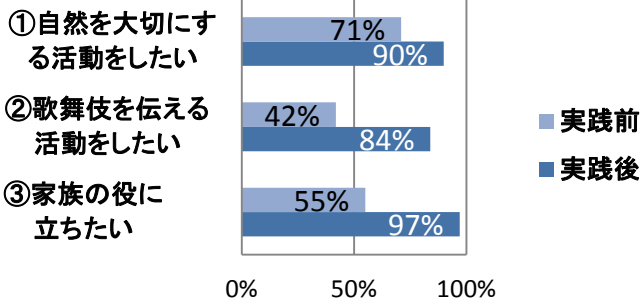
| 項目 | 評価 |
|--|-------|
| 1 ねらいとする道徳的価値が明確であるか | ◎ ○ △ |
| 2 話の筋や登場人物の行動が分かりやすいか | ◎ ○ △ |
| 3 主人公の気持ちの変化が現実的で自然であるか | ◎ ○ △ |
| 4 新しい発見があるか | ◎ ○ △ |
| 5 子どもの想像をかきたてるような場面が含まれているか | ◎ ○ △ |
| 6 未来を切り拓いていこうとする意欲が湧かされるか | ◎ ○ △ |
| 7 児童の共感を呼び、多様な感じ方や考え方が引き出せるか | ◎ ○ △ |
| 8 体験活動や日常生活を振り返り、道徳的価値の大切さを考えることができるか | ◎ ○ △ |
| 9 物語性が強い、大人が読んでも感動する内容となっているか | ◎ ○ △ |
| 10 地域の人々が抱えている課題や日常生活の問題などを浮き彫りにしているか | ◎ ○ △ |
| 11 著名な人物だけでなく、優れた生き方をした無名の人物も取り上げているか | ◎ ○ △ |
| 12 人物の幼少期や少年期に焦点を当てているか | ◎ ○ △ |
| 13 中心発問を設定できる場面があるか | ◎ ○ △ |
| 14 主たる登場人物が人程劇に設定されているか | ◎ ○ △ |
| 15 登場人物の考えや思いが必要以上に書き込まれているか | ◎ ○ △ |
| 16 直接的に感情を訴える言葉ではなく、副詞や形容詞を効果的に活用して心の動きを表しているか | ◎ ○ △ |
| 17 ねらいを追求するのに不要な状況や説明が削除されているか | ◎ ○ △ |
| 18 教育上、適切な内容や表現になっているか | ◎ ○ △ |
| 19 学年に応じた語彙や漢字が使われているか。(習字年は、旁かを書きしているか) | ◎ ○ △ |
| 20 一文が長くはないか。主述のずれはないか | ◎ ○ △ |
| 21 句読点や行間は適切か | ◎ ○ △ |

一部抜粋

心に響く魅力的な資料づくりとその活用の
工夫は、道徳の時間を充実させる鍵です！

研究のまとめ

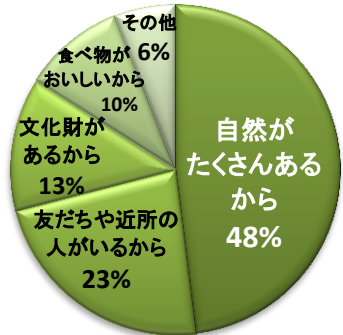
道徳的実践意欲の変容



これからも郷土の
よさを見つけて、私
たちの郷土を大切
にしていきたいな。



赤城町が好きな理由 (実践後)



成果

- 地域素材を取り上げた自作資料の活用や書く活動の工夫により、地域のよさを自分とのかかわりでとらえ、地域の人々の思いに共感し、郷土を大切にしようとする心情や、郷土のためにできることをしようとする実践意欲をはぐくむことができた。
- 総合単元的な道徳学習を構想し、地域の「人・もの」とかかわる授業づくりを行ったことにより、よりよい生き方についての考えを深め、郷土の人々・自然・伝統などを大切にする道徳的実践を行うことができた。

課題

- ねらいとする価値についての思いや考えが深まるように、児童の意識の流れを踏まえて地域の方の話を設定することや、その話を生かして発問を構成することが必要である。
- より主体的な活動の中で、郷土にかかわる体験や郷土を大切にする道徳的実践ができるように、各教科等や日常生活との関連を吟味し、道徳の時間の位置付け方を工夫することが必要である。

